

# 生活文化科ファッションコース

## デザイン画講習会

11月10日（金）午前10時15分～

午後3時05分まで

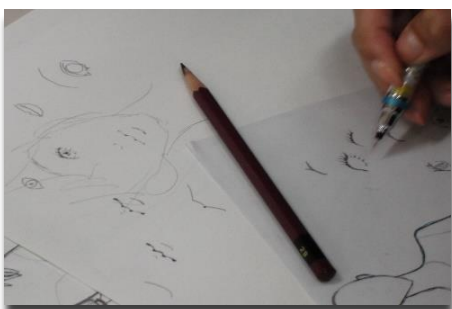
11月10日（金）に、愛知文化服装専門学校 加藤沙江子先生をお招きして、生活文化科2年生・3年生ファッションコースの生徒（合計14名）を対象に、デザイン画講習会を開催しました。



2年生は、衣服の着装写真を観察して、素材の質感を線で表現する方法を、分かりやすく教えていただきました。



3年生は、製作中のカラードレスを見ながら、光沢やドレープを表現するための着色の仕方について、色鉛筆やパステルなどの画材を使い分けて教えていただきました。



顔を描くのが苦手という声があり、目や口などの描き方のポイントを教えていただきました。目の形、黒目の色の塗り方など、少し変えると表情が全く変わってくることを、先生が実践しながら教えてくださいました。



## デザイン画講習会を終えての感想

### 2年生

- 自分のデザイン画を見て直してみたら、実際の写真のパンツのすそは広がっていないのに広がっているように描いていたり、タックがあるのになかったりしたので、次に描くときは服をよく観察して描くようにしたい。
- 3色4色と色を重ねることで、より深みがある色を表現できると知って、自分の作品がとても上手にできました。先生がとても分かりやすく説明してくださって良かったです。
- デザイン画を描くときに、素材を意識して描くことが大切だと教えていただき、いろいろな服がどんな素材で作られているかを意識するようになっていきたい。

### 3年生

- 衣服の素材に合う画材を選ぶことが大切だ、ということを知ることができました。
- とても楽しくためになる講座でした。今まで着色すると平面的になりがちでしたが、今日の講座でいろいろな色を使って1つの色を作り出すことや、影のつけ方を教えていただいて、やってみたらうまくできて、大変勉強になりました。
- 私は、顔が全く描けませんでした。コツを教えていただき、上手く描くことができました。
- 顔を描くのが難しいと思っていましたが、教えていただいたように、目や鼻といった顔のパーツの全部の線を描くのではなく、大切な部分を濃くシンプルに描くことが、ポイントだと分かりました。

## 3年生がデザイン画を 完成しました

デザイン画は、自分の製作したい衣服の色や素材デザインを、人に説明するために描きます。見たままを描くのではなく、衣服の構造を分かりやすく表現し、自分の一番強調したいデザインをアピールして描きます。

教えていただいて、今まで苦手に思っていた人も一生懸命描いていました。



